

# はつうま通信

2025年 12月21日 発行

## はじめに

師走の候、ふと夜空を見上げれば、支配するのは満天の星。すっかり澄んだ空気の先、山々の稜線に区切られた視界の奥には、大宇宙が広がっています。暖房の効いた室内で眠い目をこすっていると、この星空の下で気分転換したくなるものです。今年度も、見惚れるような冬空の季節がやってきました。

留学センターでは、収穫祭という一つの節目を越え、いよいよ冬へ、そして修園のつどいへ向けた生活にシフトしつつあります。収穫祭におかれましては、たくさんの方々に来場していただいたことで、留学生にとって様々な刺激があったようです。早速、新たな太鼓・民舞演目の練習など、個人の課題や目標の達成のために心意気を新たにしている様子がありました。一方、雪遊びやスキーなどの活動にも期待が高まりつつあります。しかし、現時点での積雪は少なく、最近は暖かい日々が続いております。先日の朝の気温はなんと 11°C。穏やかな晴天も相まって、小春日和を楽しむことができましたが、雪の活動のために、まとまった降雪が待ち遠しい今日この頃です。

さて、今年も留学生の利賀村での活動を見守っていただき、ありがとうございました。冬休みを挟み、3学期から本格的な冬の生活と活動が始まります。例年、除雪作業に従事される方をはじめ、利賀地域の皆様に支えていただき、厳しい冬を乗り越えることができることに深く感謝申し上げます。今年度の冬も何卒よろしくお願ひいたします。

どうぞ、良い新年をお過ごしください。

山口楓雅

## 【活動日程】

- 11/22 週末コース③(～23日)
- 11/28 センター活動開始
- 11/29 きのこの植菌  
原木の切り出し
- 11/30 自由活動日
- 12/5 ホームステイ開始
- 12/12 センター活動開始
- 12/13 保存食づくり(漬物)
- 12/14 自由活動日
- 12/20 2学期大掃除
- 12/21 2学期誕生日会
- 12/22 帰省

雪遊び  
開始！



〒939-2516 富山県南砺市利賀村坂上 18

南砺利賀みらい留学センター

TEL : 0763-77-4103 / FAX : 0763-77-4037

MAIL :nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp

WEB : <http://www.nanto-toga.com/>

## 週末コース③ 秋の森トレッキング・ディキャンプ



3回目となる今回の週末コースも募集人数を上回る応募があり盛況のなかスタート。あたたかな日差しの中での2日間となりました。初日は、初雪を探して高峰山に向かいました。途中で車を降りて歩きながら山頂までの道を散策。道路脇にしか残っていなかった雪も、山頂付近に来ると道路1面が真っ白に覆われたところも見え始めました。

山頂は5~10cm程の積雪があり、雪合戦や雪だるまづくり等、それぞれに自由に過ごしました。

翌日は坂上の権現平キャンプ場で野外炊飯を行いました。グループに分かれて飯盒炊爨を行い、高学年のグループにはそれに加えて全員分の豚汁を作つてもらいました。豚汁は味付けが良かったのか、「お代わり！」とやってくる子が多くいました。

次回の活動は、2月14日~2月15日です。



## 11/29 きのこの植菌

山村文化体験の一環として、きのこの植菌を行いました。今回は秋植えに挑戦です。初めにチョークでつけた目印を参考にして原木に穴を開けていきます。今回はドリルだけでなく、植菌ハンマーにも挑戦しました。穴が空いたら菌の打ち込みです。原木の数は人数以上でしたが、「まだ、種駒余ってるよ。」や、「木を抑えておくね」など協力して進めていました。その後、植菌した原木をセンターの裏に運んで、仮伏せしました。すでに出ていたしいたけは収穫し、以前仮伏せしておいた原木は本伏せしました。きのこの栽培について、一連の作業を体験することができました。



### みらい留学農事歴



#### 【畑】12/13 保存食づくり(漬物)

この日は育てた赤かぶで、赤かぶ漬けをする予定でしたが、雪で畑が埋まってしまい、赤かぶの収穫は春に持ち越すことにしました。そのため、地域の方にいただいた白菜で白菜漬けをし、畑の食材をおいしく保存する方法を体験しました。「じゃあ樽洗っとくよ」「僕は計算するよ。〇kgの〇%だから…」と分担しながら協力して作業し、白菜を漬け込んでいました。

## 11/29 原木の切り出し

冬の山仕事の体験のひとつとして、原木の切り出し作業を行いました。留学生で協力しあい、のこぎりを使って作業をします。まずは地面に平行な切り込みを入れ、続いて斜めに切り込みを入れることで、木を倒すための「受け口」を作りました。その後、反対側から切りこみを入れていき、見事、切り倒すことができました。

切り倒した幹は枝打ちをしていきます。「この枝はナタで落とそう！」「この太さはのこぎりを使おうかな」と、道具を使い分けながら作業。最後に、指導員が玉切りした丸太を運びました。

この原木は、来年のキノコ植菌に使用します。



## 12/20 2学期大掃除

冬休みが近づき、年末の大掃除を行いました。今回の清掃場所は食堂、食文化実習室、学習室、保健室、正面玄関です。電気の周辺や本棚、食材、長靴置き場など普段の掃除では行き届いていない場所を中心に進めました。

掃除後には掃除箇所の発表、「○○がきれいになっている」、「おおー」といった言葉が自然に出るほど綺麗になっていました。



## 12/21 2学期誕生日会

2学期最後の活動は、誕生日会を行いました。最初のレク、恒例のセンター内かくれんぼでは「もう隠れる場所ないよー」と言いながら、最後まで隠れている人も。続いてのサッカーでは、全員でボールを追いかける白熱した試合となりました。

夕食には、自分たちで作った味噌ラーメン、唐揚げ、キャロットラペ、バケツプリンが並びます。それぞれの班のこだわり満載なご馳走をいただき、2学期に誕生日を迎えた人たちを祝いました。

締めくくりは、ビデオゲーム「Among Us」の現実版。少しスリリングで、頭と身体を程よく動かすゲームに全員が夢中になっていました。



## 自由活動日の様子

収穫祭後は、2度の自由活動日があったほか、比較的時間に余裕のある休日が続きました。心待ちにしていた雪遊びをしたり、わら細工やサッカーゴール作りなど、日々の遊びや活動を通して新たなことに挑戦したり。晚秋から初冬、利賀での生活を生き生きと謳歌している留学生たちです。



砂金探しへ

雪だ～！



稻わらでわらじ作り

正月飾り完成！

みらい留学日記



「みかぐらの練習」ぼくは、金、土、日曜日にみかぐらの練習をしました。ぼくはみかぐらの太鼓をやりたいと思っていたからです。その前におどりを覚えないといけないのでおどりを覚えました。やってみたら思った以上に楽しくておもしろかったです。日曜日までにいっぱい覚えられてうれしかったです。(12/14 おうき)

「15kmのランニング」今回は、元々12km~13km走ろうと思っていましたが、途中で15km走りたいと思い、途中で15kmに目標を変えて走りました。始めは市民センターまで行ってから阿別当まで行こうと思いましたが、途中で大豆谷まで行くことにしました。そしてそのノリで15km走り切ることができてとてもうれしかったです。…(中略)…春の20kmの目標に向けて一步前進することができてよかったです。3学期の20kmもがんばりたいです。冬休み中もしっかりトレーニングをしていきたいです。(12/20 しゅんや)



## みらい留学 定時定点

※留学生は利賀の四季を体感する定時定点観測のため、毎朝外に出て「朝のつどい」を行っています。朝のつどいでは、自然にまつわる声かけを指導員からひとつ。記録の一部を紹介します。

12/2 (火) 晴れ 気温: 3°C 【カリン】

・瞑想の郷よりいただいた黄色い実。洋梨の仲間で、姿形も良く似ているが、とても硬くて加工が大変！

・喉に良いらしく、はちみつ漬けなどにして楽しむ。(夜に留学生がシロップを作ってくれました！)

12/14 (日) 雨 気温: 2°C 【時雨】

・冬のはじまりに降ったり晴れたりを繰り返す「一時的な雨」。

・元来は日本海側限定の言葉であったが、現在は全国的な言葉になり、冬のはじまりの季語になっている。

## 保護者だより

芽生の山村留学2年目が春に始まってから、早いものでもう12月を迎えました。

東京にいながら、毎日北陸の天気予報を見ては、雪の知らせに利賀の雪景色を思い浮かべ、利賀で暮らす子どもたちの元気な日々を応援しています。

先月の収穫祭では、芽生が日頃からお世話になっているみなさんにたくさんお会いすることができました。大自然の中で農作物に触れ、さまざまな命とのつながりの中で学ばせていただいている日々が、確かな力となって芽生の中に育っていることを感じました。個人発表では、ひとりひとりがとても逞しく、その姿に胸を打たれました。

体育館に響く太鼓の音は、山々の紅葉と共に鳴るように美しく、心から感動しました。利賀のみなさんの温かい支えがあってこそその学びと成長だと、改めて深く感謝しております。

行事のたびに利賀を訪れるなかで、私たち家族にとっても利賀は大切な場所となり、ますます大好きな場所になりました。目の前にある「今」を大切に、利賀のみなさんの支えがあってこそ山村留学生活であることを忘れず、芽生らしく生き生きと過ごし、ささやかな感動を分かち合いながら、悔いのない2年目を歩めるよう願っています。

## ===== 指導員よもやま話 =====



キー指導の資格を取得したので、  
キー用具を一新しました。特にス  
キー板は初めて最新モデルを4月に  
購入したのですが、なかなか手元に  
届かずやきもきしていました。12月

なってようやく現物と対面でき、改めて買ってよかったと実感。使うのがもったいないような待ち遠しいような…(邑上)



留学生に教えてほしいと言われ、  
数年ぶりにわらじを編みました。趣  
味の毛糸の靴下編みに、井波で教  
わっている竹編み、藁ではわらじ  
やしめ縄。ストーブ前で、無心で  
ひたすらでも、おしゃべりしながらでも。とにかく編むのが樂  
しい季節です。(松浦)



念願の「富山のみの市」へ初訪問。凍  
えるような早朝でも、昔ながらのあた  
たかな雰囲気が心地よい。久しぶり  
の値下げ交渉に腕が鳴る。当初の半  
額程度で、刻み煙草用の呑を入手。  
小粋な道具に目がないのは、悪くも素敵な僕の癖。(山口)



「道の駅まるごと射水」でイベントが開催さ  
れていたため遊びに行きました。隣接さ  
れている新湊博物館を観覧して、富山の  
地図の成り立ちを知り、うどんや柿を購  
入。柿は美味しいだったので、1人で食べ  
きてしまいました。(高倉)